

米機ノ新型爆彈ニ依ル攻撃ニ對スル抗議文

昭和二十年八月八日

本月六日米國航空機ハ廣島市ノ市街地區ニ對シ新型爆彈ヲ投下シ隣
時ニシテ多數ノ市民ヲ殺傷シ同市ノ大半ヲ壞滅セシメタリ。廣島市
ハ何等特殊ノ軍事的防備乃至施設ヲ施シ居ラサル普通ノ一地方都市
ニシテ同市全体トシテ一ノ軍事目標タルノ性質ヲ有スルモノニ非ス。
本件爆彈ニ關スル聲明ニ於テ米國大統領「トルーマン」ハ我等ハ船
渠、工場及交通施設ヲ破壞スヘシト言ヒ居ルモ本件爆彈ハ落下傘ヲ
附シテ投下セラレ空中ニ於テ炸裂シ極メテ廣キ範圍ニ破壞的効力ヲ
及ホスモノナルヲ以テ之ニ依ル攻撃ノ效果ヲ右ノ如キ特定目標ニ限
定スルコトハ技術的ニ全然不可能ナルコト明瞭ニシテ右ノ如キ本件
爆彈ノ性能ニ付テハ米國側ニ於テモ既ニ承知シ居ル所ナリ。又實際
ノ被害狀況ニ徴スルモ被害地域ハ廣範圍ニ亘リ右地域内ニ在ルモノ
ハ交戦者非交戦者ノ別ナク又男女老幼ヲ問ハス總テ爆風及輻射熱ニ

外務省

A 7009-7-1

依リ無差別ニ殺傷セラレ其ノ被害範圍ノ一般的ニシテ且甚大ナルノ
ミナラス個々ノ傷害狀況ヨリ見ルモ未タ見サル殘虐ナルモノト言フ
ヘキナリ。

抑々交戦者ハ害敵手段ノ選擇ニ付無制限ノ權利ヲ有スルモノニ非サ
ルコト及不必要ノ苦痛ヲ與フヘキ兵器、投射物其ノ他ノ物質ヲ使用
スヘカラサルコトハ戰時國際法ノ根本原則ニシテ夫々陸戰ノ法規慣
例ニ關スル條約附屬書陸戰ノ法規慣例ニ關スル規則第二十二條及第
二十三條(兩號)ニ明定セララル所ナリ。米國政府ハ今次世界ノ戰亂勃
發以來再三ニ亘リ毒瓦斯乃至其ノ他ノ非人道的戰爭方法ノ使用ハ文
明社會ノ輿論ニ依リ不法トセラレ居レリトシ對手國側ニ於テ先ツ之
ヲ使用セサル限り之ヲ使用スルコトナカルヘキ旨聲明シタルカ米國
カ今回使用シタル本件爆彈ハ其ノ性能ノ無差別且殘虐性ニ於テ從來
スル性能ヲ有スルカ故ニ使用ヲ禁止セラレ居ル毒瓦斯其ノ他ノ兵器
ヲ遙ニ凌駕シ居レリ。

外務省